

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和  
 新潟県山岳協会  
 新潟市南区鷺ノ木新田1049  
 TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一  
 長岡市高畑町610-10  
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集  
 委員会代表 浅野亘寛  
 TEL 0258-52-3998

## 平成22年度冬山技術講習会開催される

指導技術委員会

松坂良一 (日本山岳会越後支部)

2月19日～20日。平成22年度冬山技術講習会」が行われた。参加者は38名であった。

19日、16時から2時間の座学では、阿部の「緊急露営法」・松坂の「雪崩と救助」の講義があった。講義の後の懇親会では、百選練磨の先輩達から、数々の苦い経験談をお聞きし、何よりも価値ある教訓となった。

た。

翌20日は、絶好の快晴に恵まれ、放射冷却でクラストした急斜面を一気に登り、全員、11時には真っ白に輝く頂上を踏む事ができた。今冬は、異例の大雪のため、頂上部では三米を越える積雪があった。午後からは頂上直下の雪渓を利用し(1)雪洞の作り方。(2)ビーコンでの搜索訓練。



埋没訓練を終わって

(3)雪中埋没体験。を行行い15時、阿部指導委員長長の閉会の辞で無事終了する事ができました。

冬山では、夏山で得た多くの技術、有効な用具、鍛えた体力など全てが要求される。今回の講習で得た事を一つのきっかけとして、更にレパートリーを増やし、美しい冬山を我がものにして頂きたい。

## 平成22年度冬山技術講習会に参加して

鍋木智子 (豊栄山岳会)

平成23年2月19日～20日に新発田市滝谷で行なわれた「冬山技術講習会」に始めて参加させて頂きました。冬山は他の季節と違う美しさと楽しさがあり、雪がしっかりと降り積もる頃になると胸がわくわくしてきます。しかし、危険も多くあります。家族の心配を思うと、「気を付けて無事帰宅」が条件です。実は私の雪山の緊急時の知識は無いに等しい状況でした。

今回は興味を持って参加いたしました。初日の座学では「雪崩」についての基礎知識と救出方法、更には緊急避難としての雪洞についても教えて頂きました。改めて冬山を安全に楽しむための全般を学びとることが出来ました。

座学が終わると、懇親会では座学の方による美味しいトン汁等を頂きながらお酒も入り楽しく賑やかな一時を過ごす事が出来ました。就寝は10時を過ぎていたと思います。

翌2日目は組倉山に登り下山途中で「実地研修」の予定。その日は朝から好天に恵まれ、夫々「スノーシュー」「ワカ

ン」「スキー」と自分の足に合わせた登山方法で順調に樹林帯を登って行きます。悪戦苦闘の中、3時間あまりかけてようやく山頂に到着しました。山頂でも抜けるような青空と白く大きな「雪庇」に感激。山頂から見渡す山々が一望出来、素晴らしい眺めに再び感激いたしました。少し早かったが山頂にて昼食タイムを楽しみ12時頃下山開始。20分ほど下山して程好い鞍部にて実習開始。始めて「ビーコン」と「ゾンデ棒」を使っ

ての遭難者に見立てた発信機を目標して搜索訓練を行ないました。

ビーコンが必要とされる時があつては困りますが使わな

いと「必要」となる時に使いこなせないでは役に立ちません。やはり習熟が大切だと実感いたしました。

雪崩の被害が出るのは厳冬期においての「表層雪崩」で、「弱層型雪崩」と「豪雪型雪崩」の2種類があるとのこと。今回の実習では「弱層」を調べるための方法も見せて頂きました。



弱層を調べる

きないことがあるという。そんな時はナイフを用いてシート等を切つて脱出することが大切との説明があった。いざと言う時の為にもナイフは首にかけておくことがポイントとアドバイスがあった。

そして雪洞の中での酸欠も心配されるので、中でも心配されるので、中でローソクを立ててその炎を見ることも酸欠の判断材料だと教えてもらった。

今回は参加された方々の経験からいろいろなことを教えて頂きました。これから先も冬山を楽しむように大切な技術の習熟に心掛けていきたいと思っております。

今回、冬山技術講習会を準備して頂いた関係者の方々に大変お世話になりました。感謝を申し上げて私の初体験の感想とさせていただきます。有難うございました。

# 冬山技術講習会に参加して

姉崎 由美子(新潟山岳会)

2011年2月19日〜20日、新潟田市滝谷農村婦人の家・組倉山の冬山技術講習会に参加した。

19日は机上の講習で21名が

全層雪崩と表層雪崩の二種類

がある事や、雪崩に遭った場合最初の15分が肝心で、それを過ぎたら救出率がぐっと下がる事を学んだ。そして救助の為にビーコン・ゾンデ棒・スコップの携帯が欠かせない。スコップは重いから男の人に持ってもらおう、軽量化!と思っていたので反省した。今度から必ず携帯しようと思う。雪洞も斜面に穴を掘る一般的なものから、平面に穴を掘ってシートを被せたり、雪を積み上げて作る物等、色々な種類があるそうだ。緊急時のビークで雪洞作りは重要だが、机上の平面図ではないまい想像がつかなかった。また、ビーク時は風を避けられる場所を選び、雪庇の下・谷間を避けたいといけなそうだ。当たり前といえど当たり前前の事だが、今まで人任せの山行だったため考えた事がなかったの反省した。



組倉山頂にて

20日は組倉山登山、29名が参加。青空で最高の天気の中、ワカン、スノーシュー、スキー等それぞれの装備で登山を開始した。縮まった雪を踏みしめながら進み、昼前に山頂、昼食。少し下山してやや平らな所で13:00頃から実地の技術講習を開始した。松坂さんが講師でビーコン・ゾンデ棒の使い方、埋没訓練、弱層の見分け方、雪洞作りなどを学んだ。皆ビーコンで埋もれているのを検索したり、埋没者をついたり、楽しみながら真剣に訓練を受けていた。弱層テストで30cm四方の四角形を地面に書き、周りをぐるりと深さ1m位掘り出すと、雪が本当に何層にもなっていた。ざらめ層、パウダースノー層等それぞれの層によって温度・硬さが違ふと知って驚いた。掘り出された30cm四方の立方体を松坂さんがスコップ強く叩くとざらめ層と柔らかい雪の間がスーッとずれて雪崩の仕組みを実感した。今回はかなり叩き付けてやっとな崩れたが、軽くつつく位で雪崩れる事もあるそうだ。雪洞は斜面の雪を掘り出し、ブロック状に雪を切り出す事を体験した。今回は時間がなく、1時間弱で大人がかがんで1・5人入れる位の大きさしか出来なかった。雪をスコップ切り出す作業は楽しいが思いのほか時間がかかった。

私は今シーズンが冬山デビューで、冬山の楽しさを満喫する反面、危険に対する知識がなく、漠然とした恐怖感を抱えたまま登山を続けていた。山岳会のメンバーに任せきりで、自ら学ぶ姿勢も足りなかった。これから今回の講習で学んだことを生かしつつ、安全登山を心がけたい。

# ～第14回 新潟県クライミング選手権 2011 開催～

本大会は第66回 国民体育大会の県予選を兼ねています。  
魅せるスポーツ！声援をおくろう

会長：阿部信一 競技委員長：今井浩二 ジュニア委員長：稲田春男

主催・新潟県山岳協会 後援・新潟県体育協会 主管・新潟県山岳協会競技委員会・ジュニア委員会



☆期日 平成23年4月24日(日) ☆受付 8:30～8:50 ☆開会式 9:00～9:20 ☆会場 国際自然環境アウトドア専門学校(妙高市原通70) ☆種別 1.小学生の部男女 2.中学生の部男女 3.高校生の部男女 4.成年の部男女 ☆競技方法 1.リード(予選・決勝)・ボルダリング(3課題) 2.オンサイト・リード方式(小学生はトップロープ) 3. IFSCルールに準ずる。

☆参加資格 リードクライミングのできる人(小学生の部を除く) ☆参加費 中学生以上 3,000円 小学生以下 2,000円 ☆申込先 〒949-3216上越市柿崎区法音寺392-14 柿崎中学校 今井浩二 宛

◇募集要項、参加申込書は新潟県山岳協会ホームページからも取得できます。

## 登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134(代)  
営業時間/平日10:30am～8:00pm 休日10:30am～7:00pm

賛助会員入会  
ご入金のお礼

次の皆様から、ご入金、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

\*1月23日/3月1日現在の

ご入会、ご入金状況です。

●杉本 敏

(長岡ハイキングクラブ)

(敬称略、順不同)

新潟県山岳協会

会長 遠藤家之進正和

理事長 森 庄一

総務委員長 遠藤 俊一



## JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>

※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h\_mitani388@jtb.jp

## 海外・国内旅行、主催・手配



## ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第353号・IATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員  
本社 新潟県長岡市幸町1丁目1番9号

<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所 〒940-0084 長岡市幸町1丁目1番9号 ☎(0258)33-7123  
 一般旅行業取扱主任者 森 誠樹

□新潟営業所 〒950-0916 新潟市中央3丁目2番11号 ☎(025)246-2266  
 一般旅行業取扱主任者 中島 豊

平成23年度 新潟県山岳協会事業予定 4月～6月

	4 月	5 月	6 月
総務委員会	●9日 評議員会 13時～ (ホテルニューオオタニ長岡)	●4月 賛助会員募集・継続依頼	
指導技術委員会			■日山協指導委員会 ●岩登り講習会
遭難対策委員会	●遭難対策打合せ会議		■日山協遭難対策委員会 研修会兼総会
自然保護委員会		●21～22日 春の自然保護研修会(下越)	環境月間
競技委員会	■4日 日山協競技委員会総会 ■10・11日 第6回山岳スキー 選手権(長野梅池) ●24日 国体県予選・クライ ミング選手権(国際自然環 境アウトドア専門学校) ■29日 第2回ジャパンユ ースカップ(川崎市パンフ)	■29日 北陸5県代表者会議 (富山市・南砺市)	■5・6日 第24回リードジ ャパン兼リハーサル大会(千 葉県印西市)
海外登山委員会			
ジュニア委員会	●24日 ジュニアクライミ ング大会(国際自然環境ア ウトドア専門学校)		
会報:編集委員会	15日 新山協ニュース発行 3月20日号(第282号)	10日 新山協ニュース発行 4月20日号(第283号)	10日 新山協ニュース発行 5月20日号(第284号)

編集こうき

▲計画停電の回覧板がまわってきた。このような非常時には電気にかぎらずいかなる協力も惜しまないつもりで準備をしていたが、朝の直前になって中止となった。平穏時には精密な機械のようにまわる日本のすべてのシステムもこの一週間ですっかり変わってしまった。三陸海岸を中心とした500kmに及ぶ太平洋沿いに発生した東北関東大震災はマグニチュード9というかつてない超弩級の大地震と津波をともなつて平穏に暮らしている人達を襲った。映像を通じても信じられない阿鼻叫喚の世界がそこにはあった。自然の破壊力の凄まじさは多くの人の命と財産、生活を短時間で奪った。同時に起きた福島第一原発の事故が初期復興の大きな妨げになって人々を途方に暮れさせてもいる。何か希望を持てる再建への道のりに至るきつかけが欲しい。

▲死者、行方不明者を併せて2万1千人を超えたとも報じている。発生9日経って崩れた家屋の中から2名の生存者が発見されたまさに奇跡的だ。希望へのきつかけになって欲

登山・ハイキング・クライミング  
テレマーク&山スキー



**パーマーク**  
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

▲少し落ち着いたら山へ行こう。多くの同胞の不幸に涙し、悔しさと悲しみに腫らした眼には白銀の峰々の明るい光が沁みるが県境の頂稜に立ち、鎮魂の祈りと再建への願いと希望を持って頭を垂れたい。

会報・編集 浅野

▲河原では水鳥たちの北帰行が始まっている。春は希望に満ちた旅立ちの季節でもあり、少し淋しい別れの季節でもある。今年の春は途方もない悲しみの季節となった。悲しみと苦しみを共有した団結が希望を生むと信じたい。